



「スマサポ号」でスマホ相談

☎ソフトバンク南あわじ店 ☎ 38-6900

スマホに関することは、どんなことでもご相談いただけます。
お気軽にご相談ください。
※予約不要・参加無料・先着順

- ＼こんなことが学べます /
- ☑ 基本操作 ☑ 市公式 LINE の登録
 - ☑ QR 決済・アプリの使い方

実施期間 10月8日(木)～令和9年3月18日(木)

実施時間 10：00～16：00

実施場所

- ウエルシア南あわじ広田店 （駐車場東側）
 - ショッピングセンターシーパ （店内イートインコーナー）
 - 美菜恋来屋 （店内入口付近）
 - イオン南淡路店 （南側入口付近）
- ※開催場所は週替わりです。詳しくは下表をご覧ください

9月24日、ソフトバンク株式会社と南あわじ市は、地域におけるデジタル活用の促進に向けた連携協定を締結しました。



現在、市役所本館や公民館で開催しているスマホ相談窓口とは別に、社会貢献の一環として、10月8日から市内4つの商業施設を巡回します。スマホの使い方やトラブル解決などをサポートします。

※詳しくは市ホームページをご覧ください



市ホームページ

年	月	ウエルシア	シーパ	美菜恋来屋	イオン
令和8年	10月	8日（木）	15日（木）	22日（木）	29日（木）
	11月	5日（木）	12日（木）	19日（木）	26日（木）
	12月	3日（木）	10日（木）	17日（木）	24日（木）
令和9年	1月	7日（木）	14日（木）	21日（木）	28日（木）
	2月	4日（木）	12日（金）	18日（木）	25日（木）
	3月	4日（木）	11日（木）	18日（木）	

No！カスハラ

☎総務課 ☎ 43-5001

令和8年10月1日から、カスタマーハラスメント（カスハラ）防止措置が事業主の義務となりました。

「カスタマーハラスメント」とは？

市民の皆さまなどからの要望やご意見のうち、その内容や実現するための手段・態様が社会通念に照らして行き過ぎたものにより、職員の働く環境を悪化させるものをいいます。

南あわじ市では、職員が安心して職務に専念できる環境を確保するため、カスタマーハラスメントの防止に、組織として取り組みます。

引き続き、市民の皆さまに質の高いサービスの提供と、さらなる接遇の向上を目指してまいりますので、ご理解・ご協力をお願いします。



今月の表紙

ゆめるんセンター

「ハイハイレースを開催しました」

今月の表紙は、9月10日に子育て学習・支援センター（ゆめるんセンター）で開催された「ハイハイレース」の一場面です。赤ちゃんが笑顔のお母さんを目指して一生懸命ハイハイする様子がとても愛らしく、生き生きとした瞬間を捉えています。参加した子どもたちの元気な姿と応援する家族の温かさが感じられる一枚です。



今月の内容

P3	市政ひろば ・「スマサポ号」でスマホ相談
P4-7	・令和7年度決算状況報告 ・人事行政運営状況を公表
P8-17	お知らせ ・令和9年度 保育所等の入所園児の募集 ・第17回議会報告会のご案内 ・二十歳のつどい～ハーフ～参加者募集中
P18-21	情報瓦ばん 各種 募集、催し、相談ほか
P22-23	いきいき健康生活 健康カレンダー、休日応急診療所
P24	みんなの図書館
P25	子育て広場、ケーブルテレビからのお知らせ
P26-27	まちかどトピックス ・全国大会等出場おめでとう まちの動き
P28	家庭で楽しむ学校給食 ほか

ふ れ あ い

市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

住むだけじゃない、南あわじ市の“関係人口”について

皆さんは、“関係人口”という言葉をご存じでしょうか。関係人口とは、南あわじ市に住んでいる“定住人口”でも、観光などで一時的に訪れる“交流人口”でもなく、市外に住みながら、地域と継続的に関わってくださる方々のことです。ふるさとを訪れたり、地域を応援したり、南あわじの魅力を誰かに伝えたりと、その関わり方はさまざまです。

本市ではご承知のとおり、人口減少が続いており、これからのまちづくりを考える上で大きな課題となっています。南あわじ市に住んでくださる方を増やすことはもちろん大切です。そのためにも、まずは南あわじを知り、訪れ、継続的に関わってくださる関係人口を増やしていくことが重要だと考えています。

南あわじには、訪れる方とのつながりを大切にしながら、地域の魅力を伝えてくださっている方々がたく

さんいらっしゃいます。観光・宿泊施設を繰り返し訪れてくださる方との交流や、観光ボランティアによる案内など、地域の皆さんと訪れる方との間には、さまざまなつながりが生まれています。

「ひょうごフィールドバビリオン」などの体験観光も、その一つです。農業や食、地域の暮らしなど、南あわじならではの体験を通じて、訪れた方が地域の人や文化に触れる機会が生まれています。こうした一つひとつの出会いが、南あわじを身近に感じ、また訪れたいと思っていただくきっかけになるのではないのでしょうか。

市としても、ふるさと納税や「若者ふるさと応援便」、「ふるさと同窓会応援事業」など、ふるさととのつながりを持っていただくための取り組みを進めています。また、おためし居住や移住支援、住宅取得への補助など、移住につながる取り組みも行っており、平成29年度からこれまでに、市の移住・定住施策を活用して1,200人を超える方が本市へ移住されています。

これからも、市民の皆さんや事業者の皆さんとともに、南あわじを訪れる人との出会いを大切にしながら、このまちとのつながりを一つずつ育てていきたいと思っています。